

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>非感染性角膜穿孔の臨床病態に関する後方視的検討</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 眼科（研究責任者） 崎元 暢</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ～ 西暦 2017 年 12 月 31 日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>角膜穿孔は「くろめ」に穴が開く状態で、重大な視力低下を来すだけでなくその状態を放置すると目の形状が維持できなくなる重篤な状態です。当科では細菌やウイルスなど以外の原因で生じた非感染性の角膜穿孔の患者さんに対して、角膜移植や副腎皮質ステロイド薬・免疫抑制薬の内服などの治療を行っています。今回の検討でその治療成績や患者さんの経過を後方視的（カルテ閲覧）検討することでより良い治療法の検討や病気の検討を行います。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>角膜穿孔をおこされた患者さんの視力・治療経過・手術の有無・再穿孔の有無などのカルテ内の情報</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>非感染性の角膜穿孔</p> <p>西暦 2014 年 4 月 1 日～西暦 2016 年 7 月 1 日の期間に角膜穿孔の治療を開始された方</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>上記期間内に非感染性の角膜穿孔と診断された患者さんのカルテを閲覧し、穿孔の経過（再穿孔したかどうか）、治療内容（角膜移植を必要としたか、治療用コンタクトレンズ装用を行ったか、内服薬や点眼薬の内容）などを検討します。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）</p> <p>眼科 氏名：崎元 暢</p> <p>電話：03-3972-8111 内線：（医局）2531 （PHS）8631</p>